

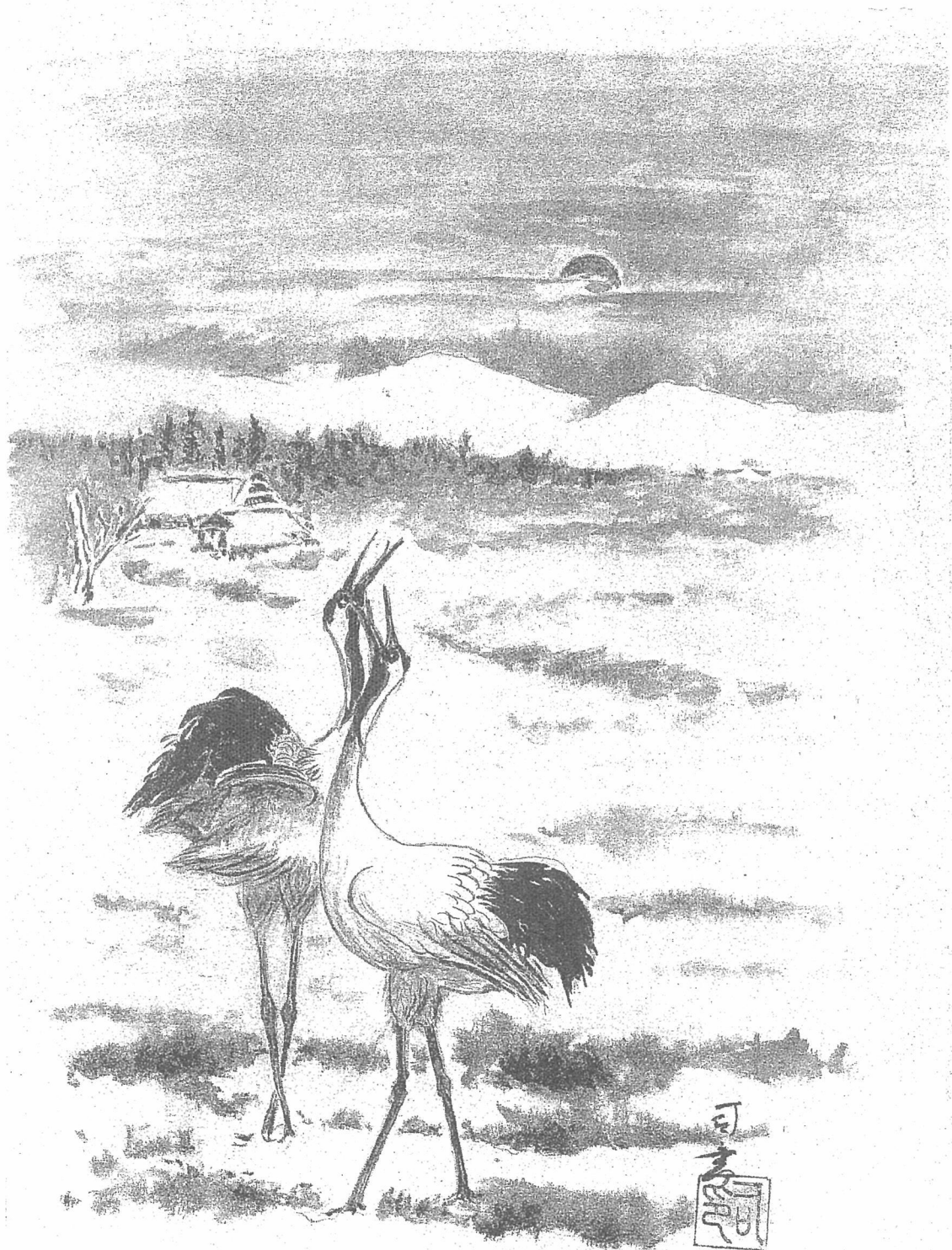
公民館だより

No. 106

ひがしの

2008. 12. 15

人口 人 1,848
(男) 910 人
(女) 938 人
世帯数戸 606
(H20.12.1 現在)



水墨画による『タンチョウの春』

楽しい墨絵の会 永野 司 画

雌雄のタンチョウ鶴が鳴き合い、仲良く巣づくり、抱卵をする。

東野住民ふれあい体育祭を終えて

体育祭運営委員長 金子 孝文

爽やかな秋晴れの十月一九日(日)東野住民ふれあい体育祭が開催されました。



金子運営委員長さん挨拶

各自治会からは、園児から高齢者の皆さんまで、巾広い住民の御参加を得た上に各自治会の御参加を超えて楽しく交流していただき「ふれあい体育祭」にふさわしい意義ある体育祭となりました。

最初 私はこの大役を引き受けた際、三十余年間に渡って東野にお世話になつていながら、地域行政に全く無関心であつたため、「運営委員長としての資格があるのだろうか」との思いもあつて戸惑いと不安でいっぱいでしたが、住民の皆さんや役員の皆様方の御協力により無事に体育祭を終えることが出来たことを改めて御礼申し上げます。

私は体育祭といえば、ふる里「郡上」をよく思い出します。当時、特に郡上ではまだ娯楽等全く

ない時代でしたので、体育祭ともなれば、当日は、朝から家族揃つて、前の晩から母親が作つてくれた弁当二食分(昼と夜用)を準備して、昼は体育祭、夜は映画鑑賞といった具合に。それは唯一の楽しみであり、秋の豊年祭りと同様、ふる里「郡上」を思うよき思い出の一つとして今でも心に残っています。

そんな事もあつて今回の体育祭にあつては、住民の皆さん特に子どもさん達には、夢と感動をとの思いもあり、例年より得点種目を多くとり入れる等の工夫をしたところ、例年よりも住民の皆さんの参加も多く、白熱した競技が続くと共に、四年振りに赤軍優勝の結果等盛り上がった体育祭になった様に思います。

最後になりましたが、初体験、手さぐり状態から不安いっぱい、取り組ませていただいた今回の大役でしたが、自治会長さんや体育協会役員の皆様方の御協力により、無事大役を果たすことが出来たと思います。誠に、有難うございました。



本年は、紅軍が団体・リレー共に優勝しました。

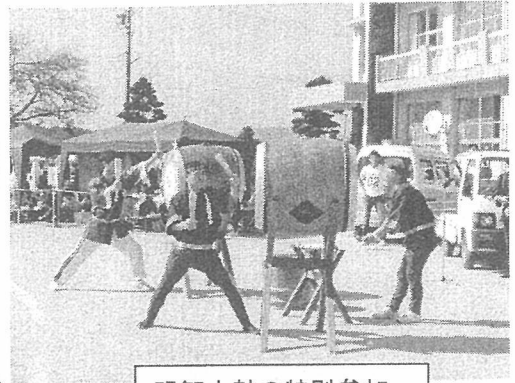
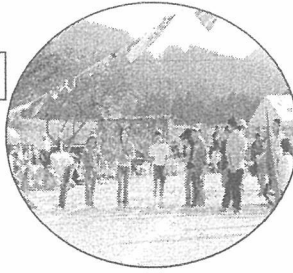
ひやひやリレー



紅白リレー競技



パンくい競争



明智太鼓の特別参加



打上回収



平成20年度 東野住民ふれあい体育祭競技種目

午 前 の 部				
NO	種 目	人 員	出 場 者	備 考
1	綱 引	-	小・中学生	
2	か け っ こ	-	幼稚園以下	
3	マレットダーツ	40	男 女	
4	お 遊 戯	35	東野幼稚園児	
5	玉 入 れ	30	女 子	
6	パンくい競争	-	各種団体長	
7	小学生競走	-	小学生(1・2・3年生)	
8	ムカデ競争	90	男 女	
9	東野ギネス挑戦	80	小学生・男女	小学生参加者
10	綱 引	100	男 子	
11	子 演 芸 会	64	男 女	
12	小学生競走	-	小学生(4・5・6年生)	
13	東 野 音 頭	-	全 員	
祝 賀 会				
午 後 の 部				
14	マレットダーツ	40	男 女	
15	玉 入 れ	-	小学生・東野全通合衆	
16	大 玉 運 び	-	60才以上・幼学	
17	綱 引	100	女 子	
18	ひやひやリレー	90	男 女	
19	打上回収	84	男 女	
20	赤 白 リレー	40	男 女	

*人員は2チームの出場者の合計です。



玉入れ



ムカデ競争



総合案内



展示会場



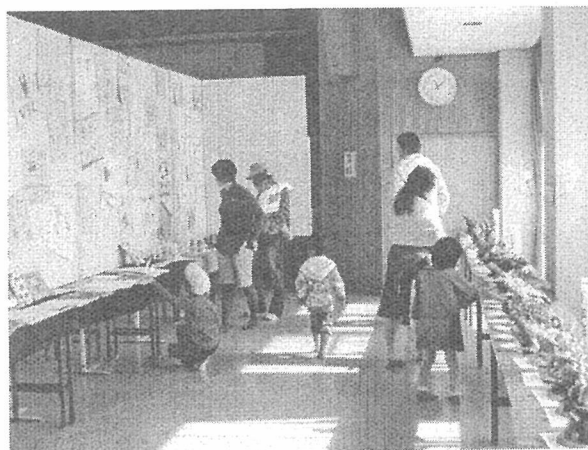
内容は①絵画、書道、水墨画、盆養菊など東野のみなさんの作品を多数展示しました。②特別展示として、昭和30年代の住まいの様子や家具生活用品を展示しました。③お話コーナーで、子どもたちを対象に、本の読み聞かせや手遊びをしました。④俳句会を実施し、小栗童魚先生に選句とご指導をいただきました。

東野文化祭が盛大に開催されました。
(展示会・音楽祭・歌舞伎公演等)
恒例の東野文化祭が11月1日2日と16日の3日間に渡って開催されました。
展示会場は東野公民館です。

1日は9時から18時まで。
2日は9時から13時まで。



特別展示会場



展示会場



東野音楽祭が

東野小学校体育館で実施されました。

2日の13時30分からの開演で、今年は全国大会優勝者の神谷たかふみさんの三味線ユニットと三橋一季美さんの唄で1部と3部を楽しみました。2部は地元の出演を企画し①東野小学校5・6年生の合唱と②東野公民館の「いきいき歌声講座」の合唱を聴いていただきました。

日本一の三味線演奏と地元の小学生と講座生の清らかな合唱などを堪能していただきました。



東野小学校5・6年生の合唱



いきいき歌声講座生の合唱

東野文化祭を終えて

文化祭実行委員長 遠藤龍美

平成20年度文化祭を11月1日から2日の2日間、一年間の歩みを、各サークルより出品された作品を無事保管し開催することができました。

東野の古里を自慢する紅葉は美しく、天候に恵まれ、遂行できたことを、役員一同、各スタッフの努力と協力で、そして東野住民の皆さんと共に作りあげたことが、良かったとの思いで御礼と感謝を申し上げます。

今年度の特別展示を昭和30年代の「住」のテーマで計画したところ、丁度日本が終戦十年目となり、所得倍増の意気込みで働く楽しみを与えたのは、電気製品の生産がめまぐるしくて活気ある時代に入り、短いモデルチェンジですぐ買い替えられ、特に電気製品はすぐに廃棄処理された時代ですが、このように大切に保管され

こうして出品していただいた方に50年前を思い出さしていただき感謝の思いです。

出品の中で幼・小学生全員の作品は百面相のごとく同じものでもそれぞれの個性で楽しく良き思い出になることでしょう。又各サークルに於いては公民館講座の皆さん、すばらしい作品で、今は余裕ありの人生でしょうか！こうした講座があることによって地域の活性と横の触れ合いが保たれると思われるので、一人でも多くが参加され発展していくことをお祈りします。

2日の音楽祭の開演においては三味線のバチサバキの魅了！数少ない5・6年生全員でこのように大観客の前で合唱できることは、人生の出発点として勇気を得たと思います。今後も東野の場合、複年数では非継続できることを望みます。

16日の歌舞伎公演は、東野の伝統を守るため、一生懸命練習を重ねた演技はすばらしく、裏方の作業も大変でご苦勞様でした。全地域のご協力金、御祝儀と、こうした皆様の総合的なご支援があつてこそ幕が開くのですが、客席が薄いようが残念な気がします。もっと伝統文化に興味をもつていきたいものと思います。今後の課題でしょうか。

以上、簡単な反省ですが、東野は健康で明るく仲の良い、そして安心・安全な東野であることを願ひ、住んで良かったと後世につなげるためにも、一人でも多くイベント・サークル等に参加するなど輪を広げましょう。

お楽しみ・憩いのコーナーは展示会と同じ日程で実施されました。

①葉ボタン・パンジー・シクラメンの販売、②抹茶、コーヒー・ラムネの販売③小林ろくろさんの木工製品、原 商店さんの面白いいろいろな販売が賑わいを添えました。



新企画のお話コーナーと俳句会



読み聞かせコーナー



俳句会

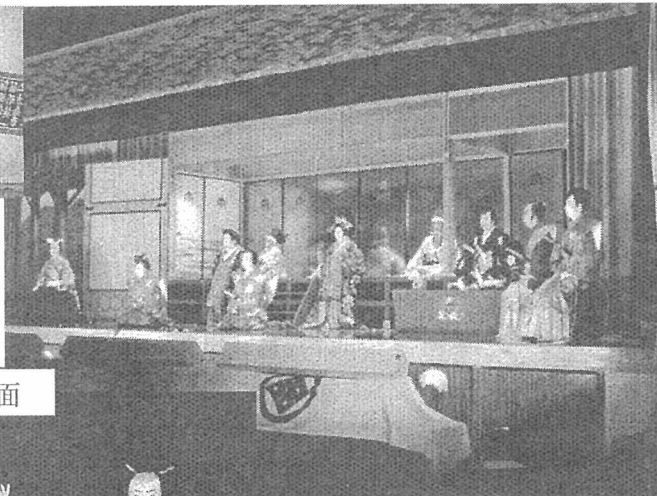


：東野歌舞伎公演は11月16日。東野小学校体育館で実施されました。

演題は寿 曾我対面 工藤の館の場、白浪五人男 稲瀬川勢ぞろいの場（東野小学校） 仮名手本忠臣蔵三段目 足利館裏門合点の場 お目見えだんまり。今年は大井文楽保存会の特別出演があり、傾城 阿波の鳴門 巡礼の段が上演されました。



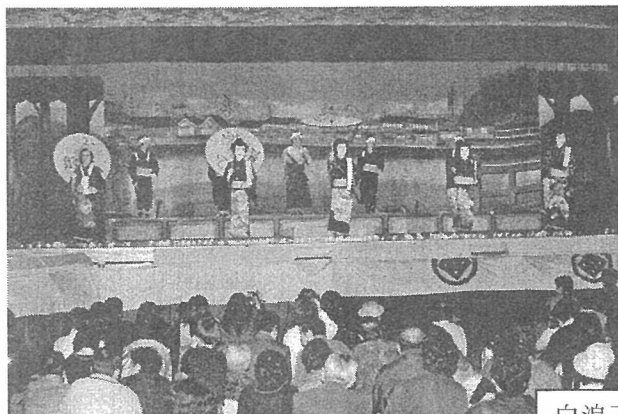
保存会会長挨拶



寿曾我対面



お目見えだんまり



白浪五人男



仮名手本忠臣蔵三段目

今年は、特別展示では昭和30年代の暮らし「衣・食・住」の3年シリーズの3年目で、「住環境」の再現をとりあげ、難しいテーマにかかわらず評判が良く、特別チームの皆さんには大変なご苦労をおかけしました。

また、展示の部では出展作品が減少傾向にある中で、それぞれの作品は素晴らしい労作ばかりで目を楽しませていただきました。特に今年は、岐阜県老人クラブ作品コンクールの優秀作品2点（別に紹介）と、前田青邨記念大賞入選作品（104号で紹介）が展示され、衆目を集めていました。

音楽祭では「昨年の二胡の演奏に続いて津軽三味線の演奏を計画していただき三百五十席をさらに追加するほどの入館者を得ましたし、久々に公民館講座の発表の場を提供していただきました。

「お話コーナー」と「俳句の会」は新企画で文化祭に新しい風を加えていただいたと思います。歌舞伎公演では保存会の皆さんのそれぞれの外題の熱演に加えて、今年は大井文楽保存会の特別参加があり公演に華を添えていただきました。また、今年、幕間に参加された、唄と踊りの「妻恋道中」と「万場の忠太郎」そして「詩舞」は大いに観客を楽しませて、充実したひとときとなりました。

（事務局）

平成二十年度第十六回

岐阜県老人クラブの作品コンクール

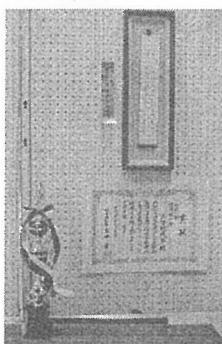
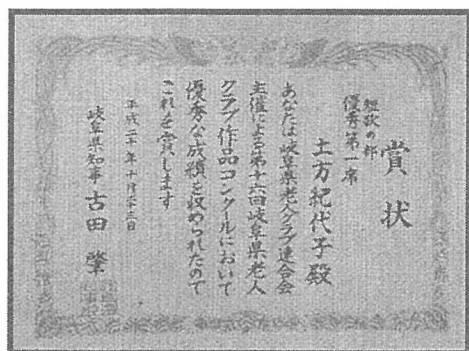
文芸部門 短歌の部に土方紀代子さんが

優秀の第一席に選ばれました。

この作品は、東野文化祭に出展していただきましたが、この紙面で改めて紹介させていただきます。

優秀第一席受賞

おめでとうございます



二十八人集いしことの正月に
母は縁者の核となりいる
紀代子

平成二十年度第十六回

岐阜県老人クラブの作品コンクール

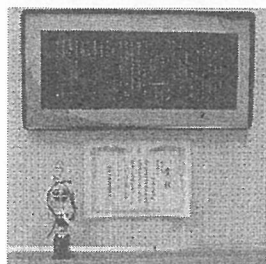
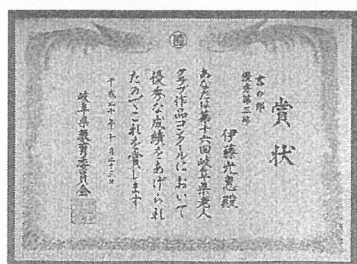
文芸部門 書の部に伊藤光恵さんが

優秀の第三席に選ばれました。

この作品は、東野文化祭に出展していただきましたが、この紙面で改めて紹介させていただきます。

優秀第三席受賞

おめでとうございます



東野敬老会が、開発振興会の主催で盛大に開催されました。

期 日 9月15日（敬老の日）
場 所 東野公民館

この日、77歳以上のご老人95名の主席者を得て、開発振興会役員と東野自治会女性代表会の準備・設営のもと、恵那市長さん、恵那市会議員の光岡さんはじめ、東野各界の代表者多数がご出席され、敬老会が盛況に開催されました。

開会式で、遠藤開発振興会長さんが「今日、皆さんは元気なお姿で参加していただいたことを役員一同喜んでおります。戦後63年が経過した今日皆さんは日本の経済をこのように発展させた原動力ではないかと思っております。（一中間略）―先人のたくわえを守っていただいた中で、私どもも先人に見習って守っていききたいと思っております。」と挨拶され、「健康で明るく、そして仲の良い、安全・安心の東野であらんことを皆さんとともに誓いながら私の挨拶いたします。」と結ばれました。

このあと、可知恵那市長さんからお祝いのご挨拶と、米寿を迎えられた方（後記）への恵那市からの記念品の贈呈が主席者お一人ずつにありました。この後、

恵那市市会議員の光岡さんから、お祝いの御挨拶があり、続いて、今年喜寿を迎えられた、新入

会員15名を代表されて、古山和郎さんのご挨拶がありました。

「今日の敬老会にお招きを頂きありがとうございます。新しく15人の皆さんと共に出席しております。私たちは昭和6年と7年生まれのもので、今日敬老会に出席できましたことは、地域の皆さん方のご援助のたまものと深く感謝しております。ところでございます。（前部抜粋）」

八十八歳の米寿を迎えられる方々

（大正9年4月1日から

10年3月31日生）

米寿を迎えられ心からお祝い申し上げます。

小野川	三宅輝代
上浜井場	伊藤美代子
上浜井場	三浦文子
白坂	西尾宣子
井の下	伊藤さわの
向島	千藤一子
向島	千藤温子
下沢	千藤鈴雄
中島	渡邊よしの
北天王前	千藤久江
上染戸	千藤三代子
下染戸	千藤和秀
南大門	千藤みちゑ



戦没者秋季慰霊祭が10月4日(土)

宗久寺本堂にて執り行なわれました。

各会各団体の代表者多数の出席のもと、宗久寺本堂戦没者の御位牌の前で代表者の挨拶、読経に続いて御詠歌がお唱えされ、慰霊祭が厳粛に執り行われました。

終わりに、戦没者遺族会会長の伊藤宮夫さんが次の様に挨拶をされました。

「先の大戦において、ひたすら祖国の勝利を信じ、一身をも返りみず戦地におもむき、八年間にわたる大戦の戦闘や空襲による災害で、尊い命を失った犠牲者は三百五十万人に及んだと聞いております。

数多くの方々が国の内外において散華されたことは私たち日本国民の永遠に忘れることのできない深い悲しみであり、痛恨の極みであります。

今、あらためて戦没

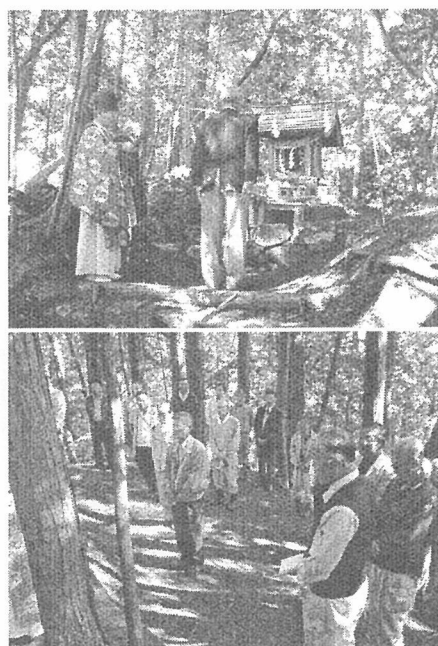
者諸霊のご遺徳をしのび、再び悲しみの歴史を繰り返さないよう決意を新たに、平和を誓い、今後ともこの遺族会が継続できるように皆様をお願い申し上げます。本日のお礼の言葉といたします。」



城ヶ峰神社の祭典が執り行なわれました。

10月18日(土)、東野生産森林組合のみなさんによって整然と神事の準備がされた保古の湖の祠の前で、宮司様の祝詞奏上があり、つづいて、組合長の藤田計明さん、顧問の与合和武さん、千藤浩雄さん、恵那市議会議員の光岡克昌さん、東野開発振興会長の遠藤龍美さんらによって玉串の奉奠が行われました。

そして、直会の儀として与合和武さんご発声で乾杯とともに、東野生産森林の山林の現状と今後の山地の維持管理の課題等のお話があり、終わりに、藤田組合長さんからこの日の神事へのご参列のお礼、城ヶ峰神社が祭られたいわれについてのお話と、間伐など少しずつながら確実に山を整備しています。とのご挨拶があつて神事が終了しました。



東雲会が秋花壇の植え替え作業を実施

11月11・12日の両日、東野地域内の3ヶ所で、秋季花壇の植え替え作業が行われました。

苗は、県の「20年度秋の花苗配布事業」でいただいたパンジー300株・芝スクラ200株と、恵那農業高校から購入した24ケース(1500株)のパンジーで、きれいに秋の花壇が彩られました。東雲会の皆さん、いつもありがとうございます。

公民館も苗を東雲会からお世話になつて玄関左右の脇花壇をきれいにしました。



東野地域懇談会が開催されました。

日時 10月15日(水)

この会は恵那市長さんや市の執行部の方々と地域住民が話し合う懇談会です。

平成16年10月に恵那市が新しく合併し、平成17年に「新しい町づくり」(総合計画とよんでいる)が作成され、この総合計画や行財政改革並びに地域自治区による町づくりの取り組みが今年で3年目を迎えています。

恵那市民の意識調査を踏まえた総合計画には恵那市が目指すべき町づくりの将来像と実践のための施策が含まれています。

この懇談会は各地域で、行政と市民が一緒になつてこれ等の施策について考える機会であり、皆さんの意見を直接伺う機会との主旨で各地域で進められています。

会は市長さんや総務部長・企画部長さんから、恵那市の(右記の)行財政改革、総合改革の2年間の取り組みと今後の取り組み等について説明がありました。

この後、地域住民との話し合いになり、次の内容で話し合いがもたれました。

- 1、最近の恵那市外から東野を見た意見
- 2、市道袖畑線等の改良の要望について
- 3、地域協議会の役割について
- 4、一般職職員と普通会計職員について

- 5、行財政改革と職員の削減について
 - 6、恵那斎苑の草刈と臭いについて
 - 7、阿木川ダムの水資源の利用について
 - 8、恵那山荘の方向付けについて
 - 9、県道阿木・大井線の工事について
 - 10、恵那駅の朝晩無人化について、等
- 以上、紙面の関係で主な項目のみあげました。内容について知りたい方は、議事録が振興事務所にありますので、お尋ねください。

市長のお礼の挨拶の中で

地域協議会のあり方について、的確な答えをしなかった。(話し合いの中のこと)。地域協議会は、合併のとき、地域の声が届かなくなるという声があり、合併特例法で地域審議会というのがあるが、恵那市では地域協議会をもうけて地域の声を市に届くようにしようということで作った。そのときに、平成17年条例をつくり、地域自治区を設置して協議会を作った。各地域で30人以下の委員を作った。当初の平成17年には2つ諮問した。1つは、総合計画を作るために地域計画を東野地域に作った。この中に東野の地域計画を入れた。これを元に総合計画を作った。もう1つは、5億円を基金にした地域づくりを考えて欲しいということだ。5年間で(市全体で)5億と当時言ったが、そ

れを使って東野地域が活性化するような事業を考えてほしいということで、2つの諮問をし、それぞれ計画を作ってもらい、地域づくりの事業も考えてもらう。その後も、東野地域についてはいろいろなことを検討してもらっているし、例えば東野地域のいろいろな施策があるが、それについて、市から考えを出すときには地域協議会に願う。地域協議会から市に例えれば市道のことなども提案していただく。こういう地域と市とのつながりをしっかりとってもらうのが地域協議会だ。重要な機関であると思っている。市の施策、問題は地域協議会で論議してもらい市としっかり連携してもらいたい。市道の話。通過地点ということだけでなく、県道阿木大井線と市道袖畑・笠作線が、東野のまちづくりの一番大事な道路になる。いろいろな論議があるが、袖畑・笠作線は市道として造りたいので、造ってよかったといえるような道路にしてほしい。よその車が通るだけということではなく、東野の大事な道路だと思つてほしい。言つたことは守りますのでよろしく願います。火葬場の臭いの話は私も聴いていないので現場で確認する。今日の話はこれからの市政に反映したい。言えなかったことは広報の直通便を利用してほしい。必ず私がみる。(文体が変わってあります)(議事録 地域懇談会東野を参考・引用)

東野5大ニュースを募集しました。

早いもので今年も残すところわずかとなり、東野住民の皆様も今年の出来事を思い起こされていることと思います。そこで、東野の歴史を綴る目的で、昨年から公民館だより『東野5大ニュース』欄を設けました。

東野の歴史に残したい平成20年の出来事を、各機関・団体等に募り、また来館者のご意見を伺いながら、5点を選んで紹介します。

I 東野開発振興会（自治連合会）と東野生産森林組合の役員が次のように改選されました。

3年に1度の改選の年度にあたり、東野開発振興会は、各単位自治会または複数の自治会単位から推薦された役員（理事）と、自治会から選任された推薦委員の会によって推薦された会長と監事の12名が総会で承認され、次のように決まりました。

会長 遠藤龍美 副会長 藤井宣勝 金子孝文 理事 渡辺五月 渡辺忠明 永野 晋 中嶋則善
伊藤秀夫 工藤正司 三宅勝義 監事 西尾典悟 渡辺一正

東野生産森林組合は、各単位自治会または複数の自治会単位から推薦された役員（理事）と推薦委員会が推薦した幹事が総会で承認され、次のように決まりました。（会長・副会長は理事の互選）

組合長 藤田計明 副組合長 古山多津男 市川治之 理事 渡辺守正 伊藤正樹 伊藤宮夫
伊佐地邦久 長谷川久雄 西尾敏博 西尾昌由喜 幹事 岡本勝英 林 源幸 足立幸秀
ご苦労さまですが、3年間よろしく願いいたします。

II 平成合併2回目の恵那市議会議員の選挙の投票が11月16日行われ、同日開票され、大変な激戦を制してめでたく東野の光岡克昌さんが当選されました。ご当選おめでとうございます。恵那市と東野をよろしく願いいたします。

今回は1選挙区（前回6選挙区）で行われ定数6減の24議席に27人が立候補しての激戦の上現職18人新人6人が当選されました。（投票率75.91%）

III 小規模多機能居宅介護 高齢者専用賃貸住宅 「ハートホーム・ハートヴィレッジ東野」がオープンしました。

明智線東野駅に、医療法人恵雄会介護老人保健施設ところによる上記の施設が12月3日に竣工式、4日に内覧会が実施され、オープンの運びとなりました。

1Fがハートホーム東野(小規模多機能居宅介護)で、①通い ②泊まり ③訪問ができ
登録25人で 通いが15人です。

2F・3Fはハートヴィレッジ東野(高齢者専用賃貸住宅)で、医療依存度の高い方も入居でき全室25室です。

IV 白坂・記念碑隣接交差点（仮称）の共用が開始されました。

変則的な交差点であったところ、中津川との交通量の増加等に伴って交差点の改良が望まれていましたが、平成19年に着工して今年7月に竣工し使用されています。立派な交差点になりました。今後の信号機の設置が望まれます。

V 県道阿木・大井線の道路改良工事が着工されました。

（順不同）

市民講座の成果、音楽祭に発表

東野公民館の「いきいき歌声講座」の皆さんが東野文化祭の音楽祭に出演して日頃の活動の成果を発表してくださいました。林 精子先生の指導・指揮のもとに美しいハーモニーと歌声で、音楽祭を盛り上げていただきました。



すくすくクラブ

11月28日東野幼稚園を訪問しました。

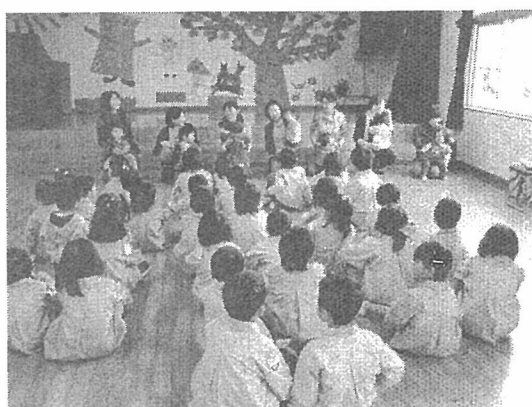
その日は誕生日会が開かれ、保護者の方による絵本の読み聞かせとお遊戯をしました。

読み聞かせの時間では、読み手と子どもたちとがひとつになり絵本の世界を楽しみました。

また、園児と一緒にお遊戯をして、体も心もほかほかになりました。

日中はお母さんと二人だけで過ごすことの多い乳幼児学級の子どもたちは、初めはたくさんのお兄さん、お姉さんの中で戸惑い気味でしたが、しばらく園児たちの様子を見て、雰囲気を感じて集団の中で過ごすということを経験できました。

楽しい時間を過ごさせてくださった先生方、また子どもたちのために風車を作ってくれた園児のみんな、ありがとうございました。



幼稚園のお兄さんお姉さんと
ごたいめーん

文芸

花無山句会 (東野文化祭俳句)

役終えし案山子休ませ農の小屋 市川茶山

菩提の実尼僧と拾ふ正眼寺 市川芳子

山荘に刈り名残りの枯薄 伊藤道子

信濃富士背筋を正す刈仕舞い 西尾美恵子

菊日和嫁ぎし孫の思い出も 土方ちかえ

主婦の座の幸や間引き菜みずみずし 松本はるか

豆爆ぜて莢飛び出す日和かな 千藤恵三

サークル短歌 (十一月歌友追悼歌会)

鈴木喜一郎

雪降りし梓川のほとりにて

熱きコーヒー共に呑みたり

弘枝さんと共に歩いた記憶なく

河童の橋の行きも帰りも

市川茂子

友想うやさしきかぜを受けながら

山の紅葉を見つめておりぬ

ゆず釜を教えてくれし友偲ぶ

日毎色づく柚子見つめつつ

赤尾衆夫

秋枯れのさ中に咲ける菫あり

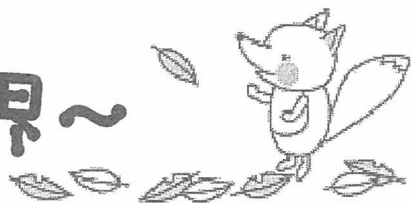
日々一万歩淡々と往く

秋の実の十を数えて採り来しを

卓に散けて一服しおり

東野の子どもたちへ

～ひとり語りの世界～



語り：いちかわあつき

「おこんじょうり」

人は生きてさえいれば、何度でもやり直すことができる

保護者のみなさんへ

純粋で穏やかな東野のすてきな子どもたちも、

小学生から中学生への成長のとき、

人間関係など、かけ足で階段を登らなければならないなど、

心の葛藤を経験します。

そんな子どもたちや親さんに向けて、いちかわあつきさんが
「ひとり語り」を通して熱い感動を伝えてくれます。

ぜひ、子どもたちに聴かせてあげてください。

もちろん、おともこのチャンスにぜひ評判の語りを堪能し
にきてください。

と き：1月14日（水）

14：40～16：00

ところ：東野公民館

問合せ：東野公民館 入場無料

0573-26-2555

主 催：東野青少年育成会議

ひとり語りとは

（いちかわあつきさんの言葉から）

一人芝居のようで、そうでもない。

昔話や昔からある話芸ともいいきれない。文字で書かれたお話があつて、それを音に変えて、語り手としてのわたしのからだを通して表現された物語を、聴き手であるお客さんが自由に絵にし、それを動かす。それを取りあえず、「ひとり語り」と呼んでいます。



「おこんじょうり」（40分）

作：さねとうあきら

身よりのないイタコのばばさまは、腰を痛めて寝込んでいました。ある日、おなかをすかせたきつねが、食べ物をさがしてばばさまの家に入ってきました。そのきつねは、じょうりりで人の病気を治す、不思議なきつね。ばばさまの病気もいっぺんに治って…。

プロフィール

1960年 岐阜県中津川市生まれ

1995年 ひとり語り

劇団「銀河鉄道」設立。

以降、学校・公民館・集会所・個人宅、あらゆる場所を舞台に口演活動を行う。

2003年 たじみ FMPiPi ラジオ番組

「ふらあり文学散歩」「今夜もオールド・パルで…」のパーソナリティをつとめる。



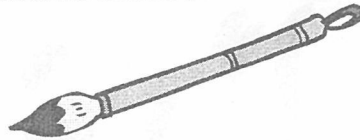
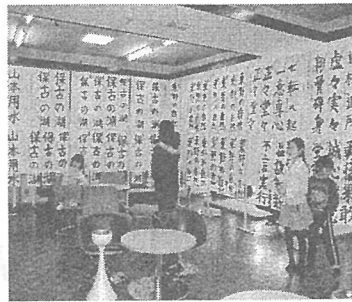
おしらせ



◆ふるさと作品展◆

東野の児童、生徒による書初めを展示します。東野にちなんだ題材を書いた力作がそろいます。ぜひご覧下さい。

とき 1月11日(日)～22日(木)
ところ 東野公民館ロビー



アイデア募集します

今年度東野文化祭には住民の皆様には多大なご協力をいただきありがとうございます。

来年度文化祭の特別展示の企画について、アイデアがありましたら、東野公民館までお寄せください。よろしくお願ひします。

本年度は昭和30年代の「住」をテーマとし展示しました。

消防年末特別警戒実施

年末における地域の火災予防のため、12月25日から12月30日、22時から翌日4時まで、消防団員の皆さんが地域を警戒巡視されます。

消防団員のみなさん、地域の安全のための活動ありがとうございます。



休館日 (変更の場合あります)

12月	1日・8日・15日・22日 24日・27日～31日
1月	1日～3日・5日・12日 13日・19日・26日・
2月	2日・9日・12日・16日 23日



(後記)

今年はアメリカに端を発した金融不安に世界が揺れた一年であったように思えます。年末になって日本にもこの影響が現れはじめ、政界関係では「ねじれ国会」「霞ヶ関〇〇金」「ガソリン国会」等々の言葉が踊り世相不安を加速したように思えます。

一方、北京のオリンピックが成功裡に終了し、その中で、金メダルを勝ち取ったソフトボールの上野由岐子投手の熱投を指す「上野413球」中継テレビ解説者の宇津木妙子前監督の「よし、よし、よーしー！」の共感の言葉。北島康介選手の優勝後の「何も言えねー」などは、長い年月をかけ全身全霊をかたむけて競技に徹したものに對する、あるいはその人の身体の中からほとばしった言葉であると、私達の熱い共感と感激を誘った。

我が東野では、開発振興会と生産森林組合の役員の改選が行われ、新しい役員が、中心になって夏祭り、運動会、文化祭の取り組み、森林の維持管理等々に真摯に傾注された姿もまた、住民の深く知るところとなったと思います。

公民館活動でいえば、音楽祭で小学生の清らかな歌声、公民館講座生の合唱の清純な発表では、私たちが幼少のとき、若かりし頃によく耳にした身体で覚えている懐かしいリズムや旋律に触れさせていただき、省みて何かしら、我が身を思いだして感慨にひたつた方も多かったと思います。

来年は、良い感激を共感し合う良き年となるよう願ってやみません。

(水野)